

ギリシヤ神話

監修 学殖院大学教授
吉田敦彦

6

アテナイ王
アイゲウスは
クレタ島との戦いに
敗れたため、
クレタの王ミノスに
みつぎ物を納めなければ
なりませんでした。
そのみつぎ物とは、
男女七人ずつの若者を
牛の頭を持った怪物
ミノタウロスのいけにえとして
差し出すというものでした。
勇敢な青年に成長した
アテナの王子テセウスは、
ミノタウロスをたおすため
若者たちのひとりとして
クレタ島に向かうのです。



アテナイ王 テセウス



まんがギリシア神話 第6巻

アテナイ王テセウス

監修／吉田敦彦（学習院大学教授）

指導協力／藤井常義（サンシャインプラネタリウム館長）

シナリオ／亜仁真 作画／阿部高明

作画協力／手塚プロダクション

カバーイラスト／クリエイティブアートリュウ

装丁・本文レイアウト／海野幸裕

図版／ED社

写真協力／オリオンプレス

PPS通信社

美宝社

ワールドフォト・サービス

編集協力／株式会社 童夢

1992年4月30日 初版発行

定価2000円（本体1942円）送料310円

発行所／株式会社 きょうせい

本社／〒104東京都中央区銀座7-4-12

営業所／〒162東京都新宿区西五軒町4-2

電話 03-3268-2141（大代表）

振替口座 東京4-10,000番

印刷／凸版印刷株式会社

製本／大口製本印刷株式会社

©1992 Printed in Japan

ISBN4-324-02831-1

(3100319-01-006)

乱丁・落丁本はおとりかえいたします。

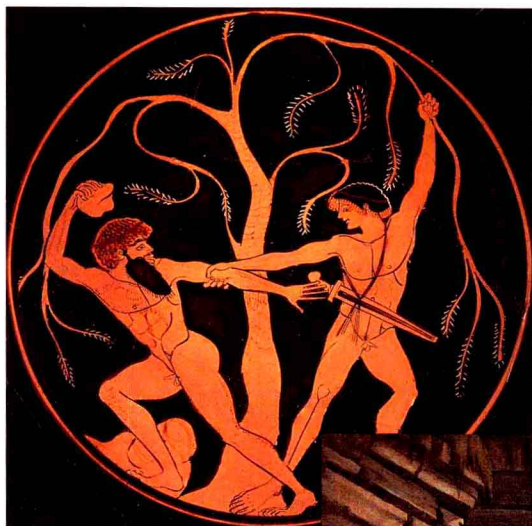
神話と美術



◆ バッカス（ディオニュソス）とアリアドネの凱旋／カラッチ
酒神ディオニュソスの命令によって、アテナイの王子テセウスがナクソス島に置き去りにしたクレタ島の王女アリアドネは、ディオニュソスと結婚しました。デュオニュソスはこの絵画のように、ぶどうの葉を巻いたテュルソスという杖を持った姿で表わされます。

◆テセウスとシニス

テセウスは、トロイゼンからアテナイへ向かう途中、旅人を苦しめる山賊たちを次つぎに退治しました。この絵は、テセウスが山賊のひとりで「松曲げ男」とよばれていたシニスを退治しているところです。



◆テセウスとミノタウロス

この図からは迷宮を表わし、古代の住宅の床に見やガラズなどでえがかれたものです。迷宮のなかには、テセウスと怪物ミノタウロス、そして迷宮のまわ

りには、テセウスに糸玉をわたすアリアドネ（左）、クレタ島を船で去るテセウス一行（上）、酒神ディオニュソス（右）がえがられています。⑤



◆アテナとケンタウロス／ボツティチェリ

ケンタウロス族は、上半身が人間で下半身が馬の姿を持つ怪物です。この絵画は、野性的で乱暴なケンタウロス族と、すぐれた知恵を持った女神アテナをえがくことによって、知性が欲望をおさえているさまを表現しています。



◆ダイタロスの作った牛に乗りこむパシパエ
 牡牛に恋心をいだいてしまったクレタ島の王妃パシパエは、工作の達人ダイタロスに本物そっくりで、なかに人が入れる木製の牝牛を作らせました。牝牛の脇腹からそのなかに乗りこむパシパエの後ろには、牡牛の姿も見られます。



◆イカロスの墜落／プリューゲル

肩にろうで翼をつけたダイダロスの息子イカロスは、空高く飛びすぎてはならないという父の忠告を忘れて、飛び続けました。そして、太陽の熱で翼のろうが溶けると、イカロスは海へ墜落してしまうのです。



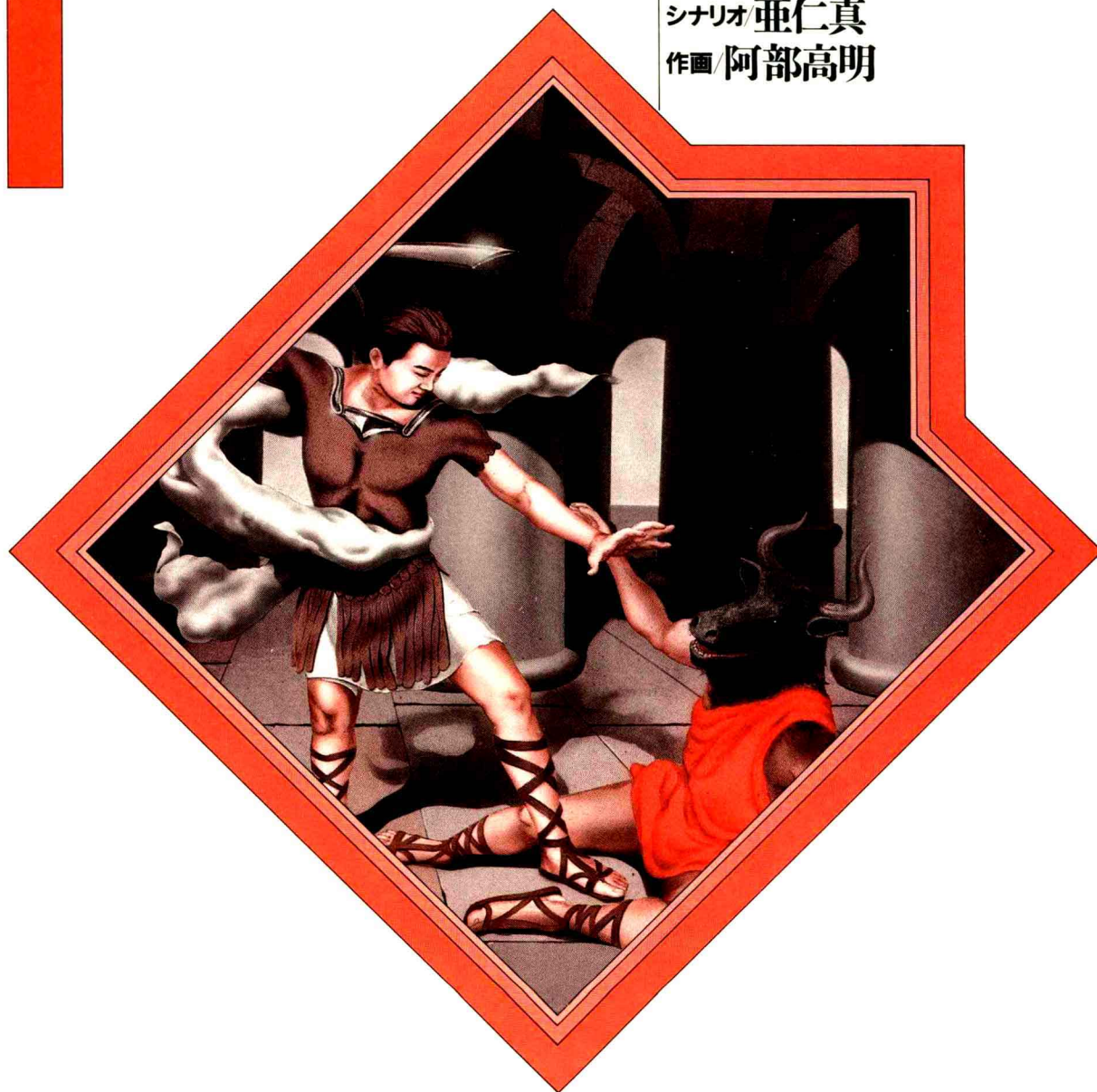
◆アマゾンの戦い／ルーベンス
テセウスは、アマゾンとよばれる女性だけの一族とも戦いました。アマゾンは、つねに戦いや狩りに従事している一族で、弓矢や半月形の盾で武装した姿で表わされます。

まんが ギリシア神話

6

アテナイ王
テセウス

シナリオ 亜仁真
作画 阿部高明



はじめに

ギリシア神話とか、ギリシア・ローマ神話とよばれている、たくさんのおもしろい物語があることを、あなた方は、きつともう、どこかで聞か読むかしてごぞんじでしょう。黄金の光でまぶしくかがやく美青年のアポロン神や、海に浮かぶあわのなかで誕生した美の女神アフロディテなど、多くの神様たち、また、怪力で乱暴なところもあるヘラクレスや、勇猛果敢なアキレウスなど、大勢の英雄たちが出てきて、さまざまの不思議な冒険や恋、戦争などで活躍をします。そしてこれらの物語のもとになった話は、今から二〇〇〇年以上も前に、古代のギリシア人が語っていたものでした。

今から二四〇〇年から二五〇〇年くらい前に、ギリシア人たちは、文学や美術をはじめとする学問や、技術など、すべての点で今のヨーロッパやアメリカの文化のもとになった、本当にすばらしい文化を作り上げました。それを、「ギリシアの奇跡」とよんだ人もいます。

この古代ギリシア文化は、今から二三〇〇年くらい前に、有名なアレクサンドロス大王がした遠征によって、今のトルコやエジプト、イスラエル、シリア、レバノンから、イラク、イラン、アフガニスタン、パキスタンなどにまでまたがる、広い地域に伝えられました。そしてその文化は、今から二〇〇〇年くらい前にローマ帝国を作った、古代のローマ人たちにも、そっくりそのまま受けつがれたのです。

古代のローマ人が使っていた言葉は、ラテン語といって、ギリシア語とは別の言葉でした。しかしローマ人たちは、ギリシアの文化

のすばらしさにあこがれて、その魅力のとりこになりました。そしてローマ人たちは、美術や文学、哲学やそのほかの学問でもギリシアのものを模範と考えたのです。さらにローマ人たちは、ギリシア人が持っていた神話も、ただ神様などの名前の大部分を、ギリシア語からラテン語の呼び方に変えただけで、そっくりそのまま自分たちのものにしてしまったのです。

このようにローマ人によっても、自分たちの神話だと考えられ、ギリシア語だけでなく、ラテン語でも語られるようになった、古代ギリシア人の神話のことを、ギリシア・ローマ神話とよんでいるのです。そのため、そのなかでは、ちよつとやっかいなことです。多くの神様や英雄たちは、ギリシア語とラテン語のふた通りの、別の名前を持っています。本書で使っているのは、全部、もとのギリシア語の名前のほうです。

ギリシア・ローマ神話は、その後ヨーロッパの文化のなかにも、受けつがれました。ヨーロッパやアメリカの人たちは、今でもギリシア・ローマ神話を、キリスト教と共に自分たちの文化の土台になった、とても貴重な財産と考えて、大切にしています。

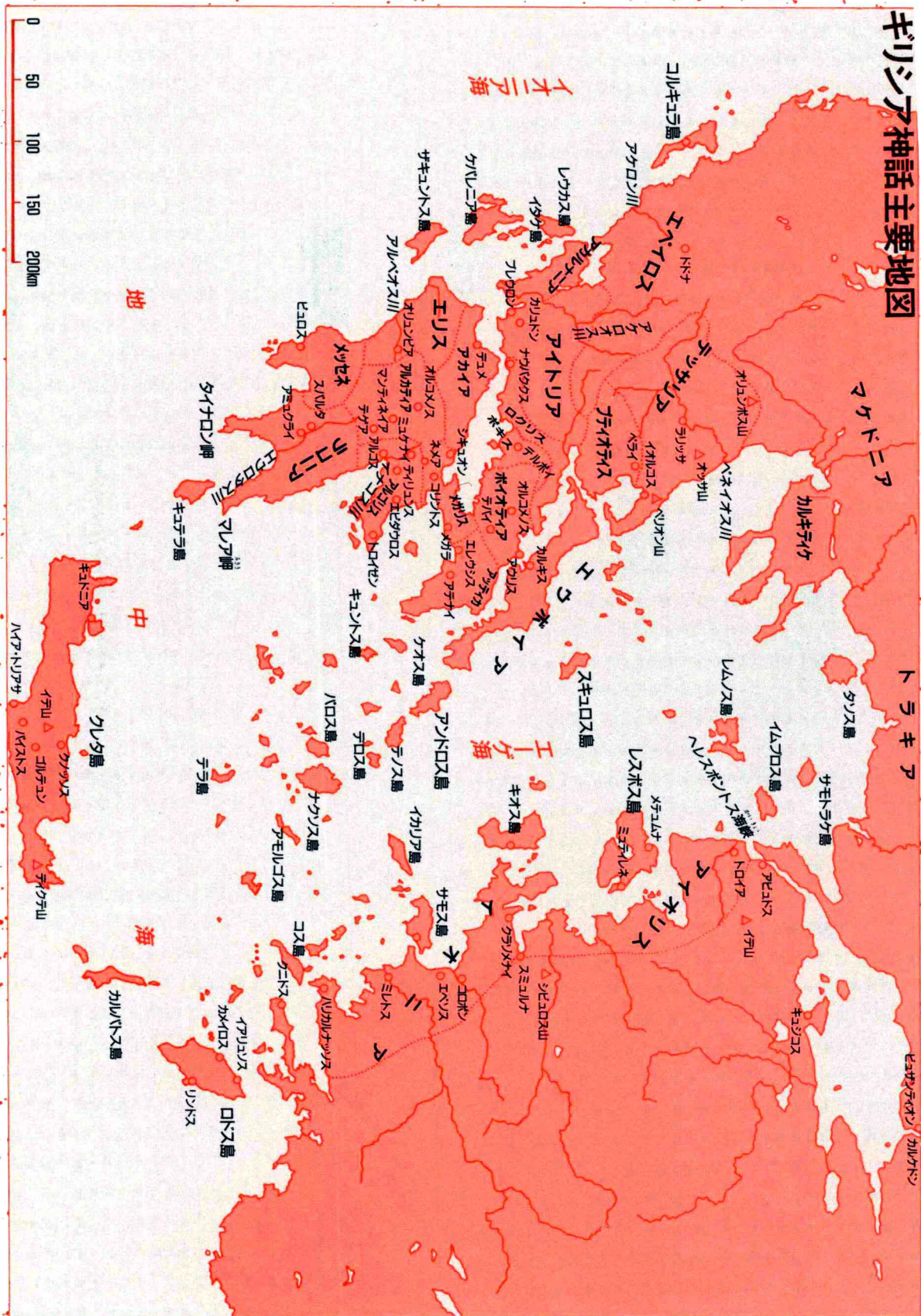
美術をはじめ、文学や音楽あるいは映画など、芸術のどの分野でも、ギリシア・ローマ神話を新しくえがいたり、物語ったり、またそれからヒントを得たりした作品が、ヨーロッパでは昔から多く作られてきましたし、今もヨーロッパやアメリカで、たくさん作られています。そして下じきにされたギリシア・ローマ神話の物語を知らないままで、これらの名画や名曲、名作を鑑賞しようとすると、わたしたちはしばしば、それこそまるで、くつの上から足のかゆいところをかいているような、物足りなさともどかしさを、感じさせられてしまいます。

それだけではありません。一九六九年に初めて人間を乗せて月に着陸したロケットの名前が、アポロ一号だったことを、ごぞんじの人も多いでしょう。この名前はもちろん、初めにあげたハンサムな光と芸術の神、アポロンにちなんでつけられたものです。アメリカやヨーロッパで作られる品物には、このほかにも、乗り物や兵器から日用品にいたるまで、ギリシア・ローマ神話の神様や英雄の名前をつけられたものが、たくさんあります。これはもちろん、ヨーロッパやアメリカでは今でも、そのような名前のついた品物が、だれにでも自然に、神話の神様や英雄のようにすばらしく魅力的であったり、強力であるように感じられてしまうからであるにちがいません。このことから、ギリシア・ローマ神話が今もヨーロッパやアメリカの人たちにとっても愛され、自分たちの神話として大切にされて、本当になじみの深いものであり続けていることが、よくわかります。

こうしたことから、ヨーロッパやアメリカの人たちの文化と、ものの考え方をよく理解しようとする、わたしたちはどうしてもギリシア・ローマ神話を知る必要があるのです。この本は物語をよりわかりやすくするために「まんが」という形式をとりました。話を視覚化することによって、おとただけでなく、小・中学生にも入りこみやすいものになっています。さらに本書は、ギリシア神話をくわしく正確に見せ、語っており、信頼できる手引きとなっています。これを持って、すばらしい未知の世界発見の旅に出て、ギリシア神話通になってください。

（学習院大学教授吉田敦彦）

ギリシア神話主要地図



アテナイ王テセウス 目次

神話と美術

1

はじめに

6

第二章 約束された王位

12

第二章 クレタの迷宮

53

第三章 アリアドネの糸玉

ミム ラピュリントス

79

92

タイタロス

108

エーゲ海

114

第四章 アテナイ王

115

神話と遺跡

190

神話と文学

194

第1章

約束された王位

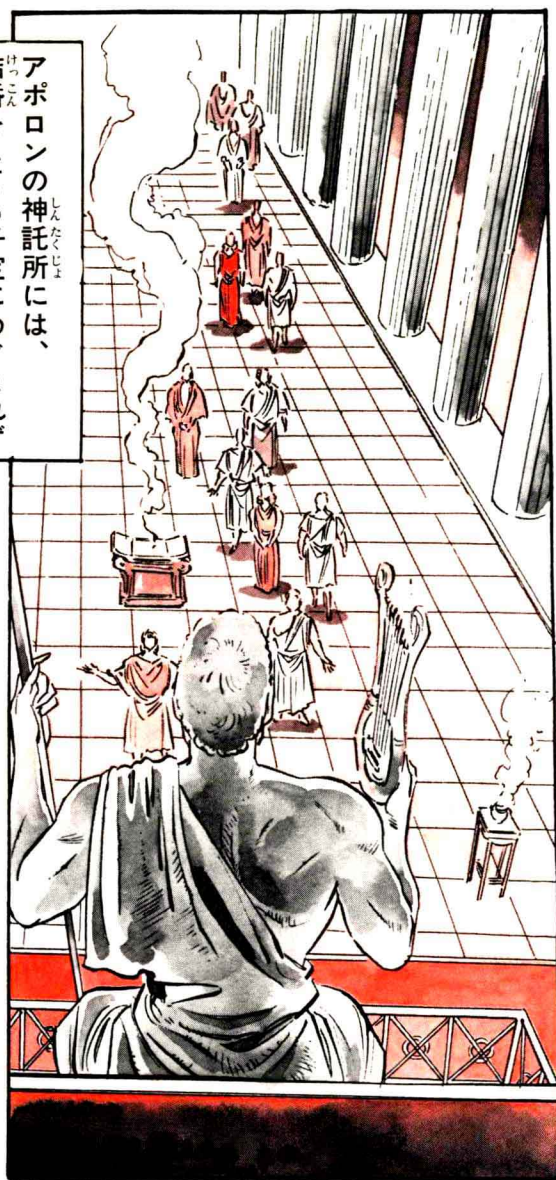


デルポイ――。



◇デルポイ パルナッソス山(ギリシア中部にそびえる山)の山腹の谷間にある町。アポロンの神託所^{しんたくじょ}があった地として名高い。

◆アポロン 神がみの王ゼウスの息子で、芸術や医術、弓術をつかさどる神。また、予言の神としても有名です。



アポロンの神託所には、結婚をしても子宝にめぐまれず跡つぎを待ち望んでいるアテナイ王アイゲウスの姿がありました。



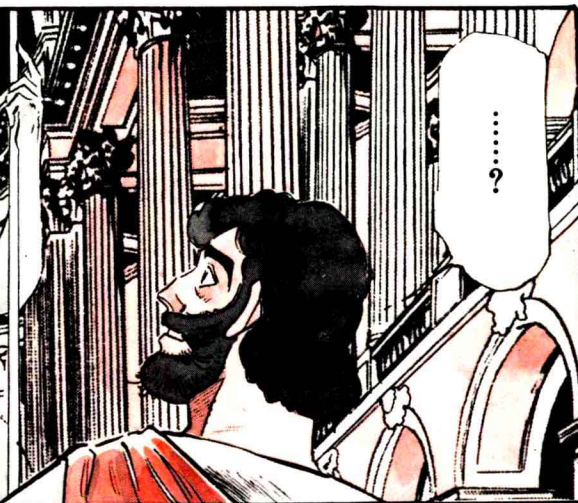
…どうかわたしに、跡つぎをおさずけください…



アテナイに帰りつくまでは、

酒の皮袋からつき出ている注ぎ口を開いてはならん。

神託所 神のおつげを人間に伝える所。



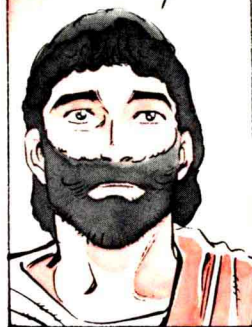
……？



さもないと、おまえは悲しみのあまり死ぬことになるう…

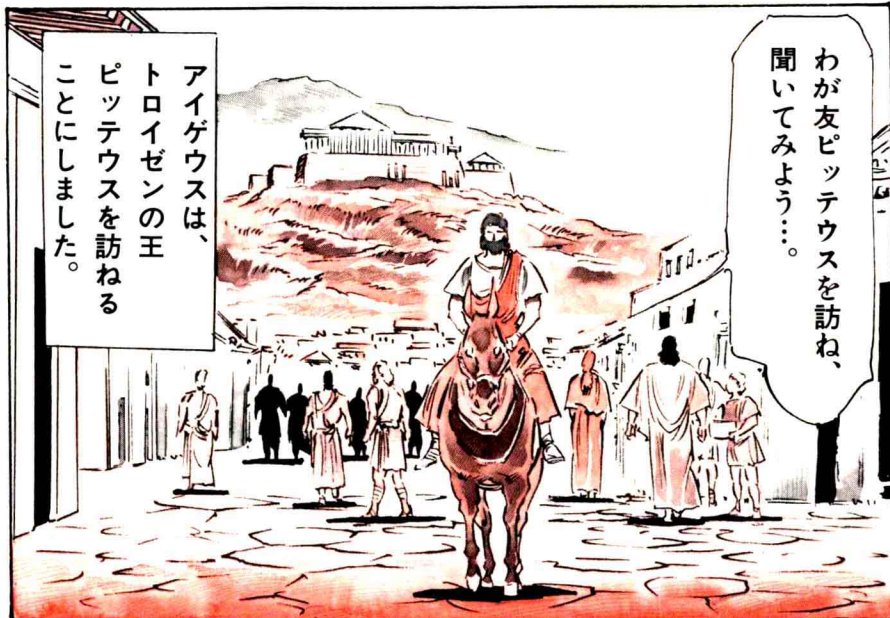
◆アテナイ アッティカ(ギリシア中部の半島をなす地方)にある都市。現在のギリシアの首都アテネの古代名。

いったい
どのような
意味であろう？



わが友ピッテウスを訪ね、
聞いてみよう…。

アイゲウスは、
トロイゼンの王
ピッテウスを訪ねる
ことにしました。



トロイゼン。



かわいそうに…、
おそらくわが娘アイトラは
追放されたかつての婚約者を
気にかけて
結婚^{けっこん}せん^{せん}のじやな…。
もう決してもどつてはこないのに…、
孫をこの手にだけるのは
いつのことやら…。



トロイゼン王
ピッテウスの館^{やぐら}

